

別紙2

三重県 中央会情報連絡員報告総括表 (令和7年4月)

情報連絡員数	40	名	回答者数	40	名	回答率	100.0	%
--------	----	---	------	----	---	-----	-------	---

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製 造 業	食 料 品	1	2	1	1	3	0	1	3	0	0	3	1	1	2	1	0	3	1	2	2	0	0	4	0	0	3	1
	織 維 工 業	0	2	1	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1
	木 材 ・ 木 製 品	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1
	紙 ・ 紙 加 工 品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
	印 刷	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	化 学 ・ ゴ ム																											
	窯 業 ・ 土 石 製 品	2	1	0	0	3	0	2	1	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
	鉄 鋼 ・ 金 属	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	一 般 機 器	1	0	2	1	1	1	2	1	0	0	1	2	0	1	2	0	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	3
	電 気 機 器	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	輸 送 機 器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
	そ の 他																											
小 計		5	8	7	4	15	1	8	11	1	0	16	4	2	10	8	0	17	3	2	11	7	0	18	2	0	12	8
非 製 造 業	卸 売 業	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	2	0
	小 売 業	0	3	3	0	6	0	2	4	0	0	5	1	0	3	3	0	4	2				0	6	0	0	4	2
	商 店 街	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	サ ー ビ ス 業	0	3	1				1	2	1	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	3	1	0	3	1
	建 設 業	0	2	2				1	3	0	0	3	1	0	3	1	0	2	2				0	4	0	0	3	1
	運 輸 業	0	1	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	そ の 他	0	2	0				1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0
小 計		0	14	6	0	9	0	7	12	1	0	17	3	0	14	6	0	15	5				0	19	1	0	16	4
合 計		5	22	13	4	24	1	15	23	2	0	33	7	2	24	14	0	32	8	2	11	7	0	37	3	0	28	12

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和6年4月～令和7年4月)

三重県中小企業団体中央会

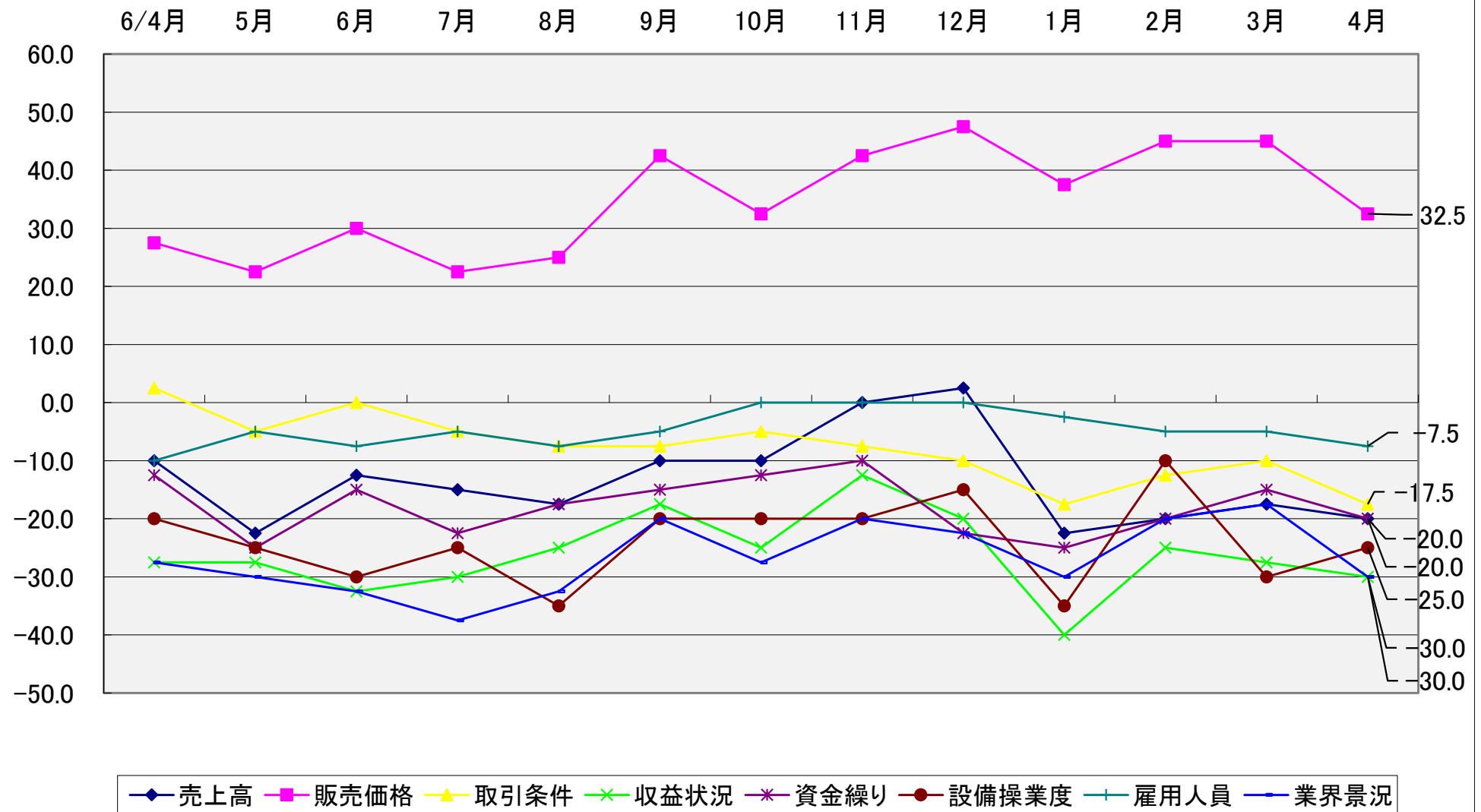
連絡員総数 40 名

	6/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	増減
売上高	-10.0	-22.5	-12.5	-15.0	-17.5	-10.0	-10.0	0.0	2.5	-22.5	-20.0	-17.5	-20.0	-2.5
販売価格	27.5	22.5	30.0	22.5	25.0	42.5	32.5	42.5	47.5	37.5	45.0	45.0	32.5	-12.5
取引条件	2.5	-5.0	0.0	-5.0	-7.5	-7.5	-5.0	-7.5	-10.0	-17.5	-12.5	-10.0	-17.5	-7.5
収益状況	-27.5	-27.5	-32.5	-30.0	-25.0	-17.5	-25.0	-12.5	-20.0	-40.0	-25.0	-27.5	-30.0	-2.5
資金繰り	-12.5	-25.0	-15.0	-22.5	-17.5	-15.0	-12.5	-10.0	-22.5	-25.0	-20.0	-15.0	-20.0	-5.0
設備操業度	-20.0	-25.0	-30.0	-25.0	-35.0	-20.0	-20.0	-20.0	-15.0	-35.0	-10.0	-30.0	-25.0	5.0
雇用人員	-10.0	-5.0	-7.5	-5.0	-7.5	-5.0	0.0	0.0	0.0	-2.5	-5.0	-5.0	-7.5	-2.5
業界景況	-27.5	-30.0	-32.5	-37.5	-32.5	-20.0	-27.5	-20.0	-22.5	-30.0	-20.0	-17.5	-30.0	-12.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする

企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	漬物	生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足が続いており、また、ウクライナ戦争の影響及び円安による諸資材の高騰により、特に電気代の値上がりが経営を圧迫する状態が続いている。今年はお米の価格高騰の影響により、米の消費が減少しており、それにつれて漬物の消費も伸び悩んでいる。なお、5月8日に津市で第53回通常総会を予定している。更に6月には中部漬物協会の総会が名古屋市で開催の予定である。
		醤油味噌	アメリカのトランプ大統領が発令した相互関税の影響がどのように出てくるのか予測ができない。アメリカへ醤油や醤油加工品を輸出している組合員がいるので心配である。国内需要が先細り傾向の中、業界をあげて輸出事業に取り組み、成果が出始めている現状にストップがかからないか危惧している。
		他に分類されない食料品 製造業	名張市の財政は厳しいようで、中学校給食を令和9年に開始と言っていたがどうも頓挫しそうである。令和6年度にはパートの社会保険加入や賃金アップで今までにない人件費になった。令和7年度は経費を減らすべく四苦八苦して頭を使って立て直しを図っていく。このようなことは今までになかった。
		製麺	令和7年4月になり、新年度が始まった。今年の組合活動も5月28日に総会を開催することになった。組合員数も昨年に比べて5社ほど減った。18社→13社になり、組合活動も厳しくなったが伊勢うどんの地域ブランドを今後、継続と発展に向けて取り組んでいく。今後の伊勢うどんのPR活動に向けて、継承と進化させていく所存である。
	繊維工業	テントシート	材料仕入単価の上昇が度々あり、対応に苦慮している。
	木材・木製品	木材	住宅需要が低迷する中で原木不足と丸太高を背景に依然として国産材製品の荷動きは低調で人件費や配送料等の高騰を背景に製材工場は厳しい経営環境が続いている。
		木材チップ	原材料価格が高止まりしているため原料確保が課題である。従業員の確保が困難である。
	紙・紙加工品	古紙	4月の仕入れ量は：段ボール・約93±5%位、新聞、チラシ・約90±3%位、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約90±4%位である。草木も萌黄色となりお祭り等の人も若い方々が増えてもコロナ前程の人は無く関西万博のインバウンドも影響なしの感である。昨年から比べ運賃の値上げ約20%UPで支払いサイト5か月超から2か月超に変更となり運賃収入と金利負担が約50%改善された。中部の製紙会社様の古紙発注量4月分も前年比マイナスで古紙在庫普通・製品在庫多めで5月6月の工場整備（SD）となり関連会社は古紙発注量3割減で古紙在庫を持つ協力をするようだ。今は総会準備等で忙しく連休中は古紙や金属の持ち去り事例が増え法制化が期待されるがゴミの置き去りでも廃掃法で捕まえられなくなる。
	印刷	印刷	三重県より受託している三重県民手帳の売上のなかから、（公社）三重県緑化推進協会へ、収益の一部を今年も寄付を行ってきた。年はじめに用紙の値上げがあったが、この4月に入ってから官公庁の入札見積など相変わらず低価格応札が続いている。宮城県では低入札価格調査制度を導入していたり、また他県では最低制限価格制度の金額を見直すなど一定の成果がある中、三重県に要望が続けているが見直しされていない。
		伊賀焼	業況については組合員皆忙しくしている。原料等の値上げが見込まれるので、今後価格に転嫁を考えていかなければならない。
	鉄鋼・金属	鍍金	業界の生産額は、堅調な状況である。中心は自動車関係であり、依然としてEV関連の受注が好調である。ただ、現在はまだ影響が出ていないが、今後は米国の関税引き上げに伴い悪影響が出るのが懸念される。
	一般機器	四日市市	業界の動きは相変わらず鈍く、米国との関税の問題による先行きの不安から設備投資を抑える雰囲気が出てきている。客先においても様子見として設備投資を延期または中止する状況が見え始めている。中小企業の設備投資意欲は低迷しているままで、全体的に好調と言える業界が見当たらない。
		津市	売上は増えたが、単価が上がっているため、実質は減少している。一部の取引先が好調なだけで、多くの取引先は良くない。米国での関税がこれから影響すると思われるが、中小企業に影響が出てくるのが、3カ月後のため、先行きが見いだせなくなっている。
		伊勢市	同じ状況が続いている。トランプ政策がどのように影響するかわからない状況になっている。受注そのものが低調で、先行きの見通しは相変わらず不透明の状況である。自動車関係の落込みは大きく、設備投資も抑え込まれている。収益状況も引き続き悪い。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
電気機器	鳥羽市	新年度に入ったが、前年度より業況が悪く、電機、半導体諸々の業種の発注が少なく苦慮している。稼働としては70%で動いている。
輸送機器	伊勢市	受注は一進一退の状況である。当月は採算改善となったが、今後の継続は不透明である。米国トランプの関税政策の影響は依然不透明だが、今後の波及を想定していく必要がある。賃上げ、金利上昇、企業物価の高止まり等、国内における経営圧迫材料増加に対し、製品ごとの採算を粘り強く交渉しているが、米国の関税見直しの今後が不透明であり、簡単には進まない。
小売業	青果	（野菜前半）4月上旬には気温が低い日が続き全般的に入荷量が少ないが、キャベツの価格が落ち着き、また、春キャベツは甘みがありサラダに最適である。県内産、熊本産トマトやキュウリ、ブロッコリーもお手頃価格。高知産新ショウガの入荷が始まった。県内産タケノコは今年は例年に比べ入荷が少なく高値。（野菜後半）昨年並みに入荷しており価格も昨年並みかそれより下げた品目が多い。特に、トマトは5月上旬まで大玉中心に安定して入荷でお買い得に。キュウリ、ピーマンは入荷が増え、キャベツ、タマネギ、ハクサイも安くなっている。（果物前半）県内産イチゴはお値打ち価格が続いている。柑橘類全般的に昨年に比べ高値。（果物後半）県内産イチゴは終盤に向かい入荷は減るが、価格は落ち着いている。熊本産アデスメロンの出荷が始まりこれからの入荷が期待される。青森産サンフジが終了し袋中で育てる有袋フジが入荷。
	自転車	4月新学期が始まり街行く新中学一年生の真新しい自転車が目立つ季節となった。ここに来て、米政権の関税政策が世界経済へ与える影響への警戒感が市場で高まり、暮らしに欠かせない商品や、サービスの値上げが相次ぎ家計の負担が増している。特に原材料価格や物流費の上昇を背景に食品の値上げが再び勢いを増し、我々自転車店への新車納入は完全にストップの状態になった。また、仕入する部品の値上げが相次いだ今、組合として部品取替え標準工程表を見直し、市場調査をもとに参考資料見本を作成しているところである。
	電器	前年に比べると家電製品の売れ行きは静かな状況となっている。価格高騰による仕入れ単価の上昇により値段が上がっているため購入意欲がかなり弱いと感じる。本来なら夏に向けてのエアコンの早期購入など動きもありそうなのだが、あまり動きのある話もでていないのでこれからといった所感である。
	石油	石破総理大臣は4月22日、物価高対策として、新たにガソリン税等の燃料油価格抑制のための「定額引き下げ措置」を5月22日から実施する方針を発表された。しかし、この補助制度は5月22日からすぐに10円値下げとはならないにもかかわらず、発表翌日のマスコミ報道のほとんどが、補助金導入後、一気にガソリン価格が10円下がるかのように報じており、このままでは「補助金をごまかしている」など、お客様からSSが悪者扱いされてしまう恐れがある。さらには、ガソリン価格の大幅な値下がりを期待するお客様の買い控えと、値下がり直後の顧客殺到によるSS店頭での混乱、加えて5月22日前に仕入れた在庫が残ることによる小売価格の値下がり時期のずれ等についてお客様に正しく理解されない恐れがあるなど多くの懸念がある。まあ、いずれにしても、原油価格や為替、トランプ大統領の一言により予期せぬ燃料油価格の変動があるものと考ええる。
	スポーツ	新年度が始まり各店で新入学の生徒への販売に努めている。その中で多少なりとも商品のクレームもあるが、到底受け入れがたいクレームもある。こちらとしては泣き寝入りしなくてはならないが、消費者のモラル低下にも困ったものである。
商店街	熊野市	今月末に開催された朝市イベントでは前年度より引き続き事業が継続された「お買い得商品券」の販売が行われたため、どの店舗とも比較的に売上の伸びが見られた。また新規出店する店舗も若干ではあるが増加傾向で今年度の売上に期待のかけるところでもある。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
サービス業	旅館	春休み中は昨年並みの集客であったが、終わってからの落ち込みが大きく5月のGW前でもあり、閑散とした日が続いていた。諸物価高騰による節約志向により巣ごもり状態になっているようでは、観光・外食等にとっては大きく影響している。対前年同月比70%、2019年同月比50%程度だった。
	警備	例年に比べて発注量が少なく遅れているが、売上高は、販売価格を昨年に比べて値上げをしている分、確保はできました。
建設業	総合工事業	2025年3月の公共工事の県内企業の受注状況は、前年度同月と比べては11%の増加となった。内訳は国の発注量増が主な要因である。一方で、2024年4月から2025年3月の年度通期の状況では、県内企業の受注総額は全体で6%の大幅な減と減少傾向が続いている。受注総量の減少や資材価格の上昇がやや強まる見通しであり、収益性も減少傾向が続く、資金繰りも厳しい傾向に転じる見通しである。労働者の確保も困難な状況は続く見通しであり、経営上の人手不測が最も大きい懸念となっている。
	内装工事業	新年度ということもあり、例年売上は少ない傾向にある。やはり、対前年同月比でマイナスとなった。国内外の経済情勢が不安定なので、今年度は非常に厳しい業況になると思われる。
	水道工事業（亀山市）	令和7年度も亀山市より漏水委託、量水器委託と2件の委託業務を受注した。今年度は前年に比べて量水器の取替え数量は減少している。また、漏水修理の件数の見直しは、ここ数カ月漏水修理件数も減少傾向にあり、売上高は減少すると思われる。また、人件費等が上昇する中、労働賃金の値上げ等が問題となりそうである。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	いつも組合活動に対してお世話になります。今後、組合員数の減少により、生き残りに向けて、それぞれの企業運営にも前向きに取り組まれています。組合員数は減少傾向ですが、業界を挙げて、前向きに進めてまいります。
一般機器	四日市市	物価上昇、賃金アップ、人不足と事業環境は厳しく、業界全体で活況な業種が少ないように感じる。特に大企業での賃上げが進む中、その上昇についていかなくてもいけない中小企業には厳しい状況が続いている。中小企業の今後の経営環境が改善されるよう支援をよろしくお願いいたします。
小売業	スポーツ	ここに書くべきことではないかもしれませんが、中央会の方で人材の確保をあっせんすることはできないか？人材不足で各企業でも困っていると思われる。
サービス業	旅館	大阪万博からの周遊客を期待していたが、今のところ効果が来ていない。早く需要喚起策を企画してもらいたい。